



令和6年度 東久留米市立東中学校



学校要覧

校歌「われらが歌」 作詞 古田 弘
作曲 有賀 正助

一、未来がわれらを呼んでいる
未来の鍵は君らが持つ
さやさと鳴る
けやきの葉風の声を聞け
けやきの葉風の声を聞け
根を深く 根を深く
いかなる風雪にも屈しない
からだを心きたえておけ
若者よ

思い切り 枝を張れ
思い切り 枝を張れ
空行く雲も とどまるまで
とどまるまで
世界がわれらを呼びさます
若者よ 若者よ
あらゆる民族と手をつなげ
いのちの尊さを知る者よ
君らのいのちの中にある
ありとあらゆる可能性を
すみのすみまでくまもなく
心を澄まして見つめるのだ
見つめるのだ
祖国がわれらを呼び起こす
日本のほこり 太陽の子ら
やらなければならぬ
使命が君らを待つ
力を合わせてやりぬくのだ
たとえひとりでもやりぬくのだ
やりぬくのだ

二、玲瓏富士のたましいが
われらの胸のここにある
われらの胸のここからは
清い泉が絶えず湧く
すべてのものを受け入れて
すべてのものを生み出だす
この武蔵野の豊かさが
絶えずわれらを満たすのだ
満たすのだ

三、ああわれら
久留米東の中学生
みんながみんなそれぞれの
月桂冠をかざすのだ
光の中に生きるのだ
光の中を歩むのだ
男には男の道
女には女の道
ひとすじに ひとすじに
どこまでも どこまでも

東久留米市立東中学校

〒203-0001

東京都東久留米市上の原 2-1-40

TEL 042-471-2765 FAX 042-472-7995

TEL 042-473-5938 (9組特別支援学級)

TEL 042-471-2101 (10組特別支援教室(けやき教室))

HP <https://www.higashikurume-school02.jp/~higa-j/>



東中 HP

概 要

校 名 東久留米市立東中学校
 所 在 地 東京都東久留米市上の原 2-1-40
 校 長 中川 義弘
 創 立 昭和 38 年 2 月 14 日
 開校記念日 昭和 38 年 11 月 1 日

校 章 の 由 来



久留米の頭文字「久」が、日本を代表する富士の姿をかたどり、葉は武蔵野に亭々とそびえる「けやき」の巨木を表す。
 玲ろう富士のたましいを受けつぎ、日本の大地にしっかりと根をはり、宇宙に向かって思い切り枝・葉を張り、ひとすじにどこまでも、どこまでものびようと祈念する。

教 育 目 標

師弟同行を重んじ、強い責任感と思いやりを持って、正しい判断と実践のできる、創造力豊かで、心身ともに健全な生徒の育成を目指す。

- よく考え自主的に行動できる生徒の育成
- 責任を果たし努力できる生徒の育成
- 健康で心豊かな生徒の育成

基 本 方 針

- 生徒が安心して過ごせ、明るく意欲的に学びに向かい、自らを成長できる場の実現を図る。
- 教師が生徒の成長のために一丸となり、生徒にとって魅力ある学校生活の場の実現を図る。

目指す学校像

- 生徒が安心して過ごせ、明るく意欲的に学びに向かい、自ら成長できる生徒
- 教師が生徒の成長のために一丸となり、生徒にとって魅力ある生活の場をつくる学校

目指す生徒像

- ・ これからの社会で活躍できる資質・能力を身に付けた生徒
- ・ 様々な課題を解決できる思考力・判断力を身に付けた生徒
- ・ 自己有用感や自尊感情を持ち、将来に向けて自己成長し続ける生徒
- ・ 多様な考え方を受け入れ、自己の意思を明確に持ち、協働できる生徒

目指す教員像

- ・ 学校経営方針を理解し、教師集団が一丸となり目標実現に向けて取り組む教師
- ・ 生徒の成長のために尽くす教師
- ・ 常に向上心を持って取り組む教師
- ・ 自分以外の人の気持ちを理解し、協力して取り組もうとする教師

特別支援学級（固定級）の重点目標

- ① 自ら考え進んで学び、創造する力を身に付ける。
- ② 集団生活の中で仲間を思いやり、すすんで周囲に貢献しようとする力を付ける。
- ③ 将来の社会的自立を目指し、就労に関する知識・技能を身に付ける。
- ④ 健康・安全に気をつけ、規律ある生活を送る力を身に付ける。

特別支援教室（東中けやき教室）の重点目標

- ① 自己を受け入れ、他者と関わる楽しさを知り、コミュニケーション力を向上させる。
- ② 様々な体験を通じて興味関心の幅を広げ、集団の中で状況に応じた行動がとれる力を育む。
- ③ 生活リズムを整え、健康な身体づくりをして情緒を安定させる。
- ④ 将来や進路について考え、行動のプランニングや時間の管理、優先順位を決定するといった自己決定力を育む。

東中生徒の活躍



上左から、新入生説明会、運動会、修学旅行、文化祭 下左から 60 周年記念能楽教室、TGG 体験学習、合唱コンクール、卒業式

令和6年度 学校行事予定

4月 始業式 入学式 生徒会オリエンテーション 保護者会 全国学力調査（3年） 身体計測 生徒総会	5月 離任式 中間考査 音楽鑑賞教室（2年） 校外学習（9組） 学校公開 小中連携の日 教育実習	6月 運動会 球技大会（9組） 期末考査 進路説明会（3年） 薬物乱用防止教室	7月 宿泊学習（9組） 職場体験（2年） 学校公開 道德授業地区公開講座 終業式 三者面談	8月 夏季休業日	9月 始業式 修学旅行（3年） 生徒会役員選挙 小中連携の日 中間考査 文化庁学校巡回公演
10月 学校公開、文化祭 進路説明会（3年） 三者面談（3年） TGG 体験学習（2年）	11月 開校記念日 小中連携の日 期末考査 セーフティ教室 校外学習（2年） 校外学習（1年）	12月 社会科見学（9組） 三者面談 マラソン大会（9組） 終業式	1月 始業式 学校公開 新入生保護者説明会 市学力調査（2年）	2月 スキー教室（1年） 劇と音楽の会（9組） 学年末考査	3月 合唱コンクール 保護者会 卒業式 修了式

令和6年度 生徒数

令和6年5月1日現在

	1-1	1-2	1年	2-1	2-2	2年	3-1	3-2	3年	合計	9組	合計
男子	14	14	28	15	16	31	20	19	39	98	9	107
女子	15	15	30	18	17	35	19	19	38	103	2	105
合計	29	29	58	33	33	66	39	38	77	201	11	212

令和6年度 部活動

運動部

- 女子バレーボール部
- サッカー部
- 男子バドミントン部
- 女子ソフトテニス部
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- 9組部

文化部

- 吹奏楽部
- 美術部
- 天文部

教科等時間割配当表 (週)

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術 家庭	英語	道德	総合	学活	合計
1年	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	1	1.4	1	29
2年	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	2	1	29
3年	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	2	1	29



東中のマスコットキャラクター
「てんぼーくん」

東中学校には、全国的に珍しい
学校に「天文台」があります

生活時程

		月	火	水	木	金
	8:25~8:35	朝学習・朝学活				
1 校時	8:45~9:35	学 活	○	○	○	○
2 校時	9:45~10:35	○	○	○	○	○
3 校時	10:45~11:35	○	○	○	○	○
4 校時	11:45~12:35	○	○	○	○	○
昼 食	12:35~13:00	昼 食				
昼 休 み	13:00~13:20	昼休み				
5 校時	13:25~14:15	○	○	道 徳	○	○
6 校時	14:25~15:15	○	○		○	○
終 学 活	15:20~15:30	終学活				
清 掃	15:30~15:45	清 掃				
下 校	15:45					
最終下校	3月~10月...18:30 11月~2月...18:00					

沿革史

昭和	37.12.14	町条例第一号として久留米町立久留米東中学校設立の件議決	平成	5.10.30	創立30周年記念式典挙行
	38.4.6	久留米中学校でプレハブ仮校舎にて授業開始		10.8.31	校舎耐震補強工事完成
	38.11.1	新校舎落成、仮校舎から移転		25.11.1	創立50周年記念式典挙行
	38.12.18	本校、四小合同開校記念式典挙行		28.3.1	体育館耐震補強工事完了
	40.3.17	校歌制定	令和	1.8.31	東校舎棟東側他中規模改造他工事完了
	41.4.20	増築校舎12教室、技術室、天体観測ドーム、掲揚台等落成式挙行		1.9.17	防球ネット設置工事完了
	42.11.19	開校5周年記念行事挙行、生徒会の歌制定		2.3.26	駐車場設置工事完了
	44.9.1	プール施設の完成		2.8.31	校舎トイレ改修工事完了
	45.10.1	市制施行により東久留米市立東中学校と校名変更		3.1.22	SDGs 研究発表会
	48.4.9	西校舎増築工事完成		3.3.17	校舎外壁工事終了
	48.11.1	創立10周年記念式典挙行		5.11.8	60周年記念能楽教室実施
	49.4.1	大門中学校と分離			
	58.11.4	創立20周年記念式典挙行			

令和6年度 教職員一覧

令和6年度の重点目標

《確かな学力の育成》

- 1 知識・理解及び技能を習得させるための指導の工夫を図る。
→ 基礎・基本の徹底、モジュール授業
- 2 思考力・判断力・表現力の育成を通して、問題解決能力の育成を図る。
→ 主体的・対話的で深い学びの実践
→ 個別最適な学びと協働的な学び
- 3 主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。
→ 教材・教具の工夫、自分の考えをまとめ、発表する

<具体的な手立て>

- 一人 1 台端末や ICT 機器の活用
- 補習教室や質問教室・学習室の活用
- 授業での目標の設定と生徒自身の振り返りの実施
- 校内研修(年 3 回) ○ 家庭学習の定着
- 小中間での指導の連続性や共通の取組等検討

《キャリア教育》

- 1 キャリアパスポートの活用
- 2 自らの生き方を考え、主体的に進路を選択する力
- 3 個に応じた指導・支援の充実、個別の指導計画の活用
- 4 地域や外部人材の活用を通して体験的な学習活動
- 5 特別支援教育理解促進に向けた研修や授業

《健全育成》

- 1 人権教育を基盤とし、他と協働し、個性を認め合う教育の推進を図る。
 - ① 組織的・計画的な人権教育の実施
 - ② 人権教育推進委員会を中心とした還元研修の実施
- 2 規範意識の醸成といじめ問題への対応を図る。
 - ① あいさつをする・時間を守る・身だしなみを整える
 - ② いじめ防止基本方針に基づいた対応
 - ③ 「特別の教科道徳」の授業
 - ④ 教室環境整備
- 3 心身の健康を図るための授業を実施する。
 - ① 体力つくりと食育の推進
 - ② がん教育・薬物乱用防止教室・SOS の出し方に関する教育
- 4 不登校問題への対応、改善を図る。
 - ① 保護者や SC、関係諸機関(学習適応教室・こども家庭センター・SSW 等)との緊密な連携
 - ② ハイパー・QU を活用した適切な学級集団作り
 - ③ 別室登校巡回教員と連携し、別室登校等の多様な支援の充実

《教育課題への対応》

- ## 1 学校評価の活用 2 働き方改革の推進